

# 3月定例市議会市長記者会見



# 福山城築城400年記念事業の総括

## 関連イベントの参加・来場数

2017年度： 9事業 38,772人

2018年度： 20事業 39,107人

2019年度： 43事業 109,224人

2020年度： 12事業 15,020人

2021年度： 21事業 52,688人

(4月1日～12月末)

福山城400年博： **75事業 500,126人**

(2022年1月1日～2023年1月末)

合計

**180事業**

**754,917人**



# 福山城築城400年記念事業の総括

## 市内への経済波及効果

事業費の約**3**倍

単位：百万円

事業費	3,320
令和の大普請, 史跡整備等	2,829
ソフト事業 (実行委員会等)	491

観光需要創出額	4,858
※ 1人当たり観光消費額 × 関連イベントの参加・来場数	

経済波及効果	<u>9,813</u>
事業費による 効果	3,672
観光需要による 効果	6,141



# 福山城築城400年記念事業の総括

## 経済波及効果の内訳

事業費の約**3**倍

単位：百万円

区分	総合効果	直接効果	1次効果	2次効果
<b>経済波及効果</b>	<b>9,813</b>	<b>6,938</b>	<b>1,799</b>	<b>1,077</b>
事業費による効果 (令和の大普請やソフト事業等に関して市内で支出されたもの)	3,672	2,546 <small>(事業費3,320のうち市内事業者等に対する支出)</small>	716	410
観光需要による効果 (関連イベントの参加・来場者が市内で支出)	<b>6,141</b>	4,391 <small>(観光需要創出額4,858のうち市内への支出)</small>	1,083	667

(注) 小数点以下の四捨五入の関係で、各欄の合計値と「合計」が一致しない場合があります。

- 直接効果…市内で生産された商品やサービスを消費した額
- 1次効果…市内事業者が生産・提供する商品やサービスの部品や原材料、外注サービス等を市内で調達した額
- 2次効果…直接効果と1次効果を満たすために働いた従業員が賃金を得て、市内で生産された商品やサービスを消費する額と、その消費が起点となって市内事業者に広がっていく発注の総額
- 総合効果…直接効果, 1次効果, 2次効果の合計 = 「経済波及効果」

【ひろぎんエリアデザイン株式会社による推計】

# 書かない窓口システムを導入します

～2023年3月6日（月）本庁舎・各拠点支所でスタート～

マイナンバーカード・運転免許証，二次元コードを専用端末に読み込ませるだけ！

## 【システム取扱手続】

- ・①住民票・印鑑・戸籍等交付申請
- ・住民異動届  
(②転入 ③転居 ④転出)
- ・⑤諸証明等申請
- ・⑥印鑑登録関係申請
- ・国民年金・国民健康保険  
(⑦加入 ⑧喪失)

### 直接来庁

### マイナンバーカード等の場合



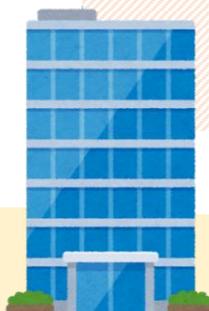
読込



補記



提出



市役所

来庁

### 事前作成



### 来庁



読込



補記



提出



**手続の簡素化！  
滞在時間の短縮！**

# 書かない窓口システムの今後の展開

- **2022年度に導入**
- **2024年度までに合計30手続に拡充**
  - ・ **税部門や福祉部門等に展開**
- **2026年度には合計200手続に拡充**
  - ・ **2025年度のシステム標準化に合わせ、住記システムなどの基幹系システムとデータ連携**

# 3月定例市議会の案件について

安心と希望のための挑戦予算  
～確かな成果と未来への歩み～

# 2023年度(令和5年度)重点政策

## ■ 安心と成長を支える都市基盤づくり

- 都市基盤整備の**総仕上げ**の年です
  - ・ 三之丸町地区の再開発や福山北産業団地第2期事業などが完了し、まちの景色が大きく変わる
  - ・ 抜本的な浸水対策や市立小中学校の耐震化などが完了することで安心・安全な生活環境も整う
- 新型コロナや物価高騰など、変化する社会情勢への対応として、生活者や事業者への支援を充実します

## ■ 未来への歩み ～人口減少対策の強化～

- **人に優しいまちづくり**の視点を持って、誰もが安心して快適に暮らせるまち
- 多様な人材が活躍し、活力と希望があふれるまち  
の実現に向け、**未来への歩み**を力強く進めていきます

# 都市基盤整備の総仕上げ ～2023年度に完了する主な事業～

## 産業基盤の構築

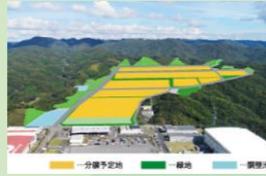
○福山北産業団地第2期事業

**完了 (2023年度)**

○福山港ふ頭再編改良 (箕沖地区) **完了**

○幹線道路網の整備

・福山道路 (瀬戸町～赤坂町3.3km) ※工事中



## 福山城令和の大普請

○天守外観復元 **完了**

(全国唯一の北側鉄板張り)

○博物館リニューアル **完了**



## 概ね5年間の抜本的な浸水対策

**完了 (2023年度)**

・河川改修

・排水機整備

・内水排除対策

など



2020年度 雨水貯留施設 (東深津町)

2021年度 雨水貯留施設 (松永中学校グラウンド地下)

## 福山駅周辺の再生に向けた整備

○三之丸町地区優良建築物等整備事業

**完了 (2023年度)**

○福山駅北口スクエア **完成**



## 教育インフラの整備

○市立小中学校への空調設備

全普通教室完了

○市立小中学校の図書館整備

**全校完了 (2023年度)**

○市立小中学校の耐震化

**全校完了 (2023年度)**

○(仮称)福山市立大学複合施設

**完成 (2023年度)**



## スポーツ施設の充実

○総合体育館 **完成**

○芦田川かわまち広場 **完成**



福山道路事業化区間



## 福山市学校規模・学校配置の適正化計画

(第1要件)による整備 **完了 (2023年度)**

19校閉校→9校開校

遺芳丘小学校、駅家北小学校、想青学園、

常石ともに学園、新市中央中学校、

広瀬学園小学校・中学校、

**加茂小学校・中学校 開校 (2023年度)**

沼隈半島に新たな周遊ルートが形成

○鞆町の山側トンネル整備

**完了 (2023年度)**



# 未来への歩み ～ (1) 福山ネウボラ

## ① 5年間の総括

～ 2022年度

### 第1ステージ(2017～2022)

### 子育て支援の基盤整備

(不安を軽減する 子育てセーフティネット)

- 切れ目ない子育て支援体制の構築
  - ・ 「あのね」市内13か所設置
  - ・ 母子保健と子育て支援の一体化 など
- 支援が必要な家庭への対応強化
  - ・ 子ども家庭総合支援拠点の設置 など



## ネウボラ 5年間の総括

### 今後も注力すべき分野 (若者・子育て世代の「5つのニーズ」)

- 1 経済的負担の軽減
- 2 保育サービスや医療提供体制の充実
- 3 遊び場の充実
- 4 仕事と子育ての両立
- 5 専門的な相談対応

# ② 第2ステージへ ～若者・子育て世代の希望を叶える～

2023年度

2024年度

2025年度～

## 1stステップ ～「5つのニーズ」に対応～

### 1 出産・子育てにかかる費用の軽減

- ・子ども医療費 所得制限撤廃

### 2 保育サービスの充実と医療提供体制の確保

- ・保育士確保の更なる強化
- ・病児病後児への訪問保育
- ・スマート保育 全市立保育所導入
- ・医療的ケア児の対応の充実
- ・放課後児童クラブの時間延長
- ・小児寄付講座の継続
- ・こども発達支援センター オンライン診療

### 3 子どもと楽しめる場所等の創出

- ・誰もが楽しめる公園づくり(インクルーシブ遊具の設置)

### 4 仕事と子育ての両立支援

- ・男性の育児参加促進
- ・企業の取組を促進する仕組みの構築

### 5 気軽に相談できる環境づくり

- ・「あのね」の専門性強化
- ・近居等を促進する住宅支援

### + 情報発信の強化

## 2ndステップ ～更なる強化～

「第2期ネウボラ  
事業計画」策定

## 3rdステップ

福山ネウボラの  
第2ステージ

本格稼働

# 未来への歩み ～（２）地域の活力再生

## 地域未来ビジョンに基づく地域づくり

2022年度

2023年度

2024年度～



### （仮称）地域未来ビジョン策定

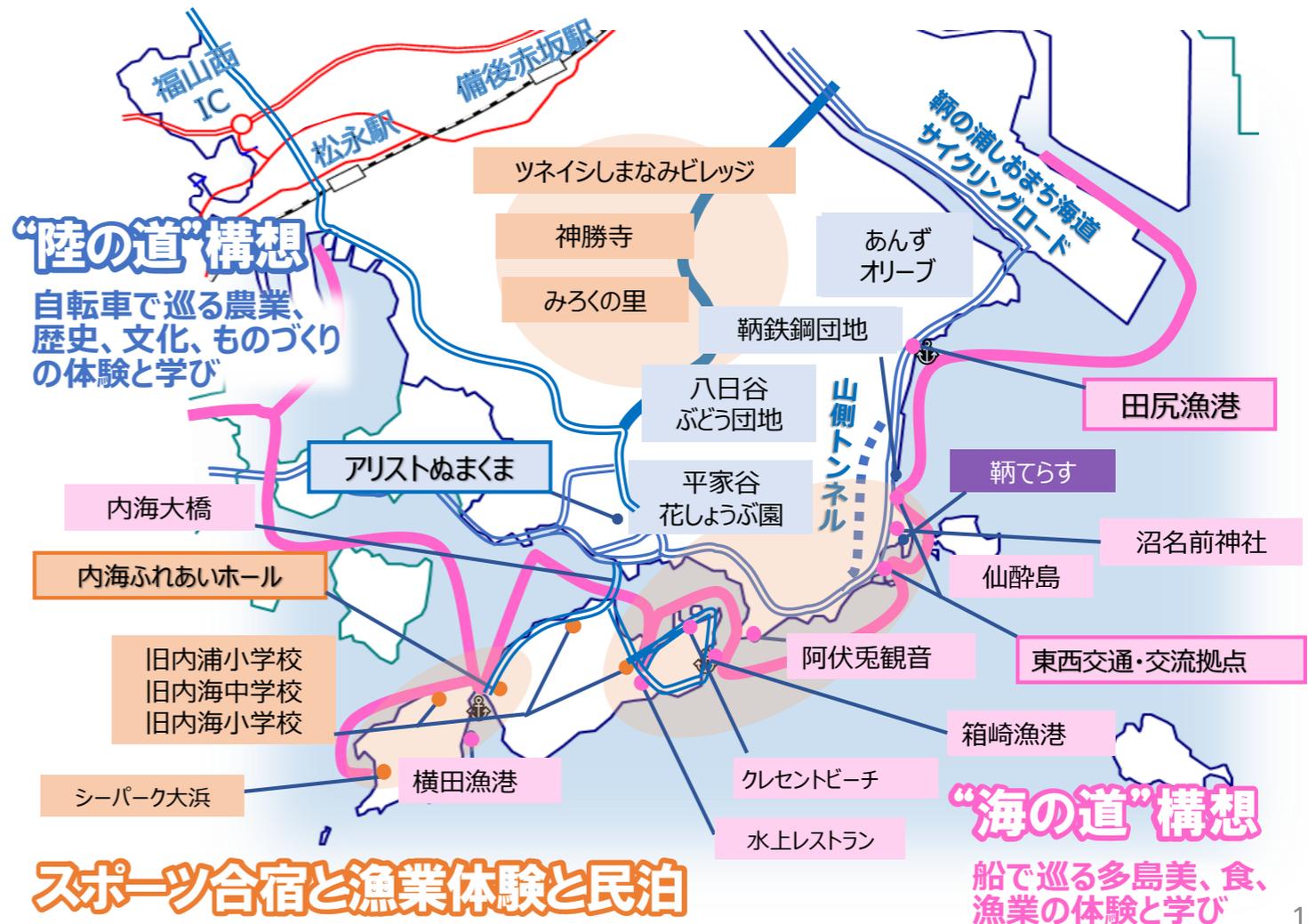
#### 官民連携によるビジョンの策定

- ・ 外部有識者などが参画する地域協議会の開催
- ・ 実証事業の実施



### 活力ある地域づくりがスタート

### イメージ（南部エリア）



### 地域資源の調査・研究

- ・ 事業者へのヒアリング
- ・ 地域資源活用セミナーワークショップ
- ・ 専門家による評価

# 未来への歩み ～ (3) 安心・安全の確保に向けた緊急対策

## ①「水路等転落事故防止対策基本方針」の策定（6月）

水路転落事故防止対策検討会（2、3月）

「水路等転落事故防止対策基本方針」（6月）

「道路転落事故防止  
対策プログラム  
第2次整備計画」  
（9月）

「ため池転落事故  
防止対策実施  
計画（第2次）」  
（9月）

道路、ため池  
対策実施（5か年）

公園、  
その他公共施設  
対策実施  
（新年度中の  
対策完了）

## ②「路面標示の3か年集中対策方針」の策定（3月）

- ・ 幹線市道等の延長 約3,500 k mのうち、約110 k m/年（約330 k m/3年）を重点整備
- ・ A Iを活用した調査
- ・ 主要な国道・県道の区画線、警察（公安委員会）が管理する規制標示（横断歩道など）の整備とも連携

実施か所の選定（7月）

市道

対策実施（10月～）

対策実施例



区画線の整備事例



水路脇の区画線のカラー化

# 未来への歩み ～（４）行政のデジタル化

## 「行政サービスをいつでも、どこでも受けられるスマート市役所」の実現

～2022年度

2023年度

2024年度

行政手続のオンライン化

【400手続】

【600手続】

公共施設のスマートロックの導入

【7施設】

【14施設】

施設予約のオンライン化

【50施設】

【57施設】

【800手続】

運用状況を踏まえ  
順次導入を拡大！

行かない市役所

全ての手続がオンラインで完結！  
(法令等で規制があるものを除く)

書かない窓口システムの導入

【8手続】

【16手続】

【30手続】

書かない市役所

マイナンバーカード等の利用で  
申請書への記入を簡素化！

窓口予約サービスの拡大

【4業務】

【8業務】

【30業務】

待たない市役所

事前に訪問日を予約することで  
滞在時間を削減！

# 未来への歩み ～ (5) ばらのまちづくり

## 世界に誇る「ばらのまち福山」の実現をめざす

～2022年度

2023年度～

2025年度

2026年度～

### 第19回世界バラ会議アデレード大会2022

- ・ 福山大会プレゼンテーション
- ・ PRブースにおける情報発信
- ・ アデレード市の都市環境の視察



### 大会準備の本格化

- 市民・企業提案型事業の募集開始
- 多様な主体と連携した大会PR  
(G7広島サミット、大阪・関西万博など)
- ボランティアの募集開始、おもてなし研修の実施
- 植栽デザイン計画に基づく市民や事業者が一体となった都市景観づくり
- Rose Expo主要コンテンツの決定
- MICE環境の整備  
・ 市内飲食店のメニューの多言語化

### 世界バラ会議 福山大会2025



### Rose Expo FUKUYAMA 2025



### 大会レガシーの継承

シビックプライドの醸成

都市魅力の向上

ばら観光の可能性

国際MICE都市

### まちを彩るばらの新品種国際コンテスト

～ Fukuyama International Townscape Rose Trials ～

国内外の育種家等から申込 応募品種数 **38**品種

### ○ MICE環境の整備

- ・ 案内標識の多言語化
- ・ 施設のバリアフリー化や周辺道路の整備

ばら苗の配付、ばらの日の啓発などによるばらのまちづくりの推進

# 未来への歩み ～ (6) 福山城

## ナイトタイムエコノミーで魅力発信

～2022年度

2023年度

2024年度～

○ゴッサム・シティと史上初・世界初の  
友好都市提携

○令和の大普請 完了

○福山城400年博

- ・ 天守・鏡櫓・鐘櫓のライトアップ
- ・ チームラボ福山城光の祭
- ・ 福山とんど祭り・時代行列の開催
- ・ 市民企画事業の実施



ナイトタイムエコノミーを核とした多彩な事業を展開



ナイトキャッスルの通年実施

4月	花見
5月	音楽祭
6月	毎土夜店
7月	ジャズナイト
8月	築城記念イベント
9月	茶会
10月	月見能



～福山城を核とした  
文化ゾーンの活用～

天守前広場内での  
イベント



楽しく学べる博物館



天空の間(天守最上階)の活用

キャッスルステイ(城泊)の事業化



市民企画事業「お城でウェディング」



実証実験の様子(2022年10月)

文化資源を活用した体験



## 官民連携

福山のものづくり企業のイメージアップ  
 ・企業の知名度アップ ・人材の確保

2023年度  
スタート

【学びと出会いの場】  
セミナー開催・異業種交流 

【情報発信】  
先進事例・優良事例・SNS等 

【各種プロジェクト】  
商品開発・技術開発 

### (仮称) グリーンなものづくり企業プラットフォーム

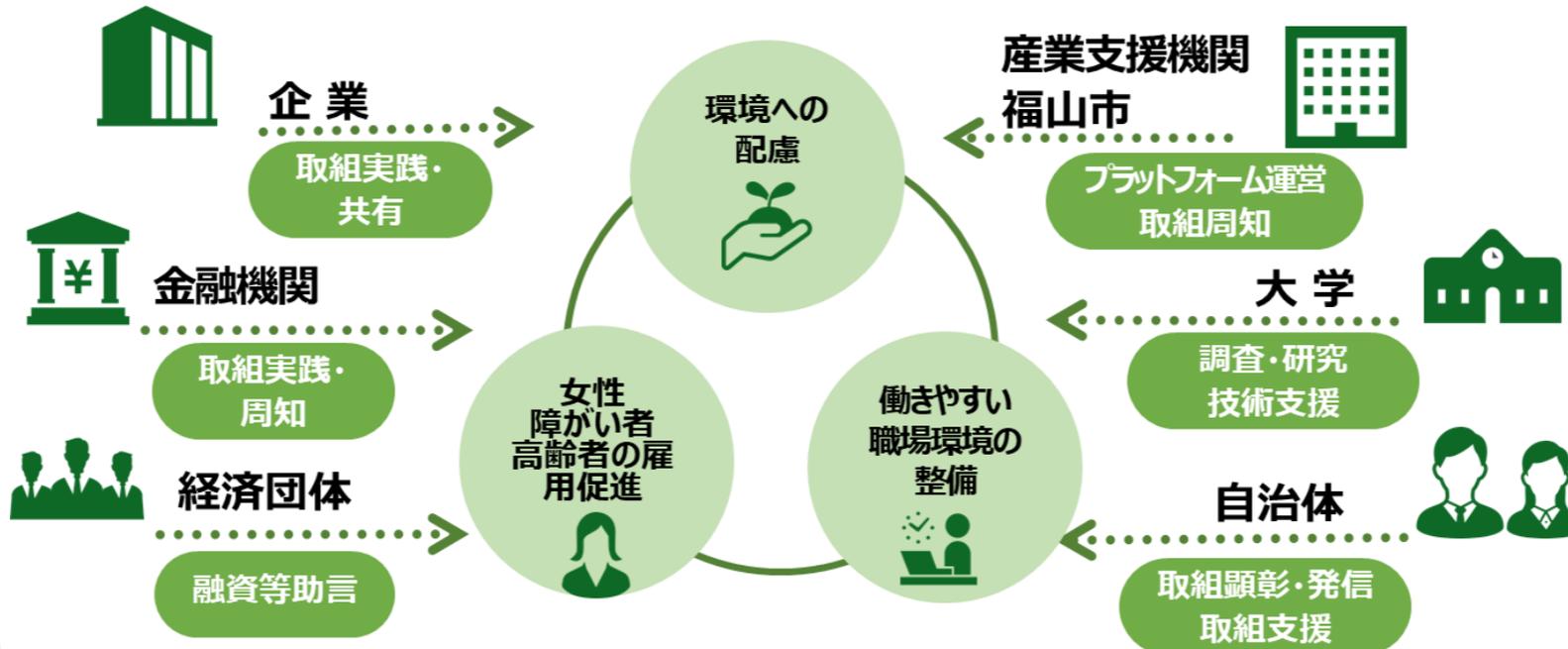
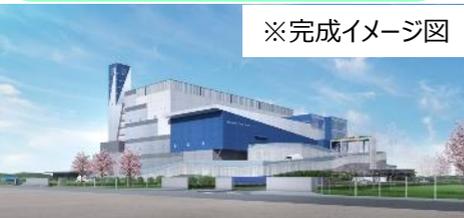
次世代エネルギーパークの  
活性化



出典：一般財団法人広島県環境保全公社

次期ごみ処理施設  
(2024年度供用開始)

※完成イメージ図



カーボンニュートラルポート  
の形成



液化水素運搬船の実証事業 (神戸港)

バイオマス発電 (民間)

# 2023年度(令和5年度)予算の概要

# 2023年度(令和5年度)予算のポイント

一般会計予算 **1,842億円**

※過去2番目の規模(過去最大は2022年度(令和4年度))  
※3月補正前倒し計上予定額を含めた場合：**2,105億円**(過去最大)

**経費の節減に取り組みつつ、都市基盤づくりや人口減少対策**などに必要な予算を確実に確保

〔重点政策への集中的な配分〕 政策経費の**約43%**、**約175億円**(2022年度：約60%、約325億円)

※3月補正へ前倒し計上予定額を含めた場合 政策経費の**約63%**、**約424億円**

- **安心と成長を支える都市基盤づくり** **約126億円**
- **「未来への歩み」～人口減少対策の強化～** **約49億円**

〔総合的な財源確保の取組〕

効果額 **約18億円**(2022年度：約19億円)

**視点1** デジタル化などによる行政の効率化 **5億円**

〔経常経費の節減の取組を推進〕

- システム導入等による業務効率化：167百万円(2022年度：151百万円)
- ペーパーレス化による節減：49百万円(2022年度：24百万円)

〔事務事業の見直しをより一層推進〕

- 事務事業の廃止・見直し等による節減：161百万円(2022年度：50百万円)

**視点2** 既存財産を活用した収入の拡大 **5億円**

**視点3** 民間活力の活用などによる公共サービスの再構築 **8億円**

# 3月補正への積極的な前倒し

計上予定額 約263億円（過去最大） （2022年度：17億円）

〔効果〕 有利な財源の活用による市の負担軽減

（例） ごみ処理施設建設費（約241億円）について、  
補正予算債（充当率100%）の活用により、市の実質負担額を約8億円節減

## 財政指標の状況

### ① 財政の健全性の維持

実質公債費比率 0.1% 指標を公開した2007年度以降の最低値（2022年度：0.8%）

将来負担比率 比率なし 2015年度から9年連続で「比率なし」

### ② 財政の弾力性の確保

経常収支比率 85.6% （2022年度予算：84.5%）  
※中核市平均 88.7%、県内市平均 89.9%（2021年度決算）

# 将来負担の抑制

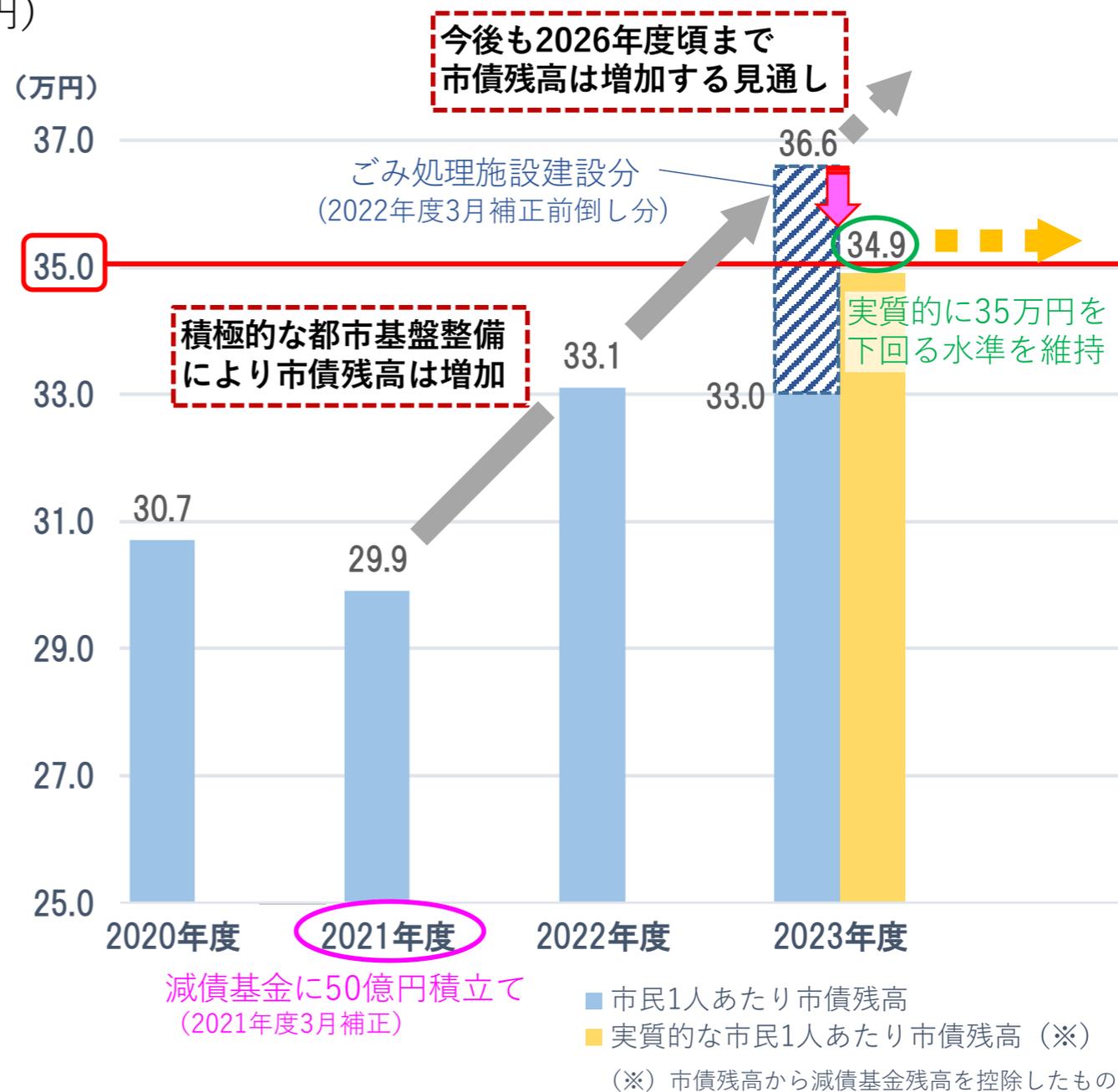
市民1人あたり市債残高 **33.0万円** (2022年度：33.1万円)

※3月補正へ前倒し計上予定のごみ処理施設建設に係る市債発行額（約166億円）を含めた場合  
市民1人あたり市債残高 **36.6万円**

減債基金の2023年度末残高（79億円）を控除した  
実質的な市民1人あたり市債残高 **34.9万円**

引き続き、繰上償還や市債発行抑制の取組に加え、減債基金のさらなる積み増しや効果的な活用を検討

目安としてきた35万円を大きく逸脱しない水準を保てるように努める



# 3月定例市議会市長記者会見